

課題 1

【出題の意図と対策】

山口仲美氏の『日本語が消滅する』からの出題である。出題した文章は、日本語の消滅を回避するために意識すべき七つのことの一つ、「母語の大切さを自覚する」ことを述べた章で、前半では、「母語」とは何かを、「母国語」と対比して説明し、後半では、自由自在に操ることができる「母語」の重要性を中心に述べている。(1)では、本文に使われている「口」という言葉を使った慣用句の知識を答える。(2)では、筆者が「母語」と「母国語」を区別する必要があると述べる理由を問うた。(3)では、具体例を挙げている意図を読み取る力、(4)では傍線部の内容をふまえて、結論を字教内にまとめる力、(5)では、筆者が二つの事柄を比較することにより分かりやすく説明している内容について、字教内で適切にまとめる力を試した。

【解答】

- (1) (例) 口がかたい
(口が軽い、口がうまい、口を切る、口裏を合わせるなども可)
- (2) (例) 国際化が進み、「母語」と「母国語」が一致していない人がどんどん増えること。
- (3) (例) 「母語」と「母国語」が一致していない人が、精神的な苦痛を感じる例。
- (4) (例) 長い時間をかけてマスターしたことで自由自在に操れる「母語」を大事にするべきだ。
- (5) (例) 「母語」は幼児期に自然に身につけ、自分の中に入り込み、瞬時に口から出る言葉で、「母国語」は国籍を持つ国で定められた共通語（公用語）である。

【解説】

- (1) 「口がかたい」は、言うべきではないことを他言しないこと。反対の意味の慣用句は「口が軽い」で、おしゃべりで言うてはいけないことまで言うてしまうこと。
- (2) 「区別」とは第三段落に明示されているように、『母語』と『母国語』の区別。第二・三段落の内容から、「日本では、『母語』と『母国語』が一致している人が多く、区別しにくい」が、その区別が「日本でも必要になる」、という筆者の主張をおさえる。「ですから、」とあるので、その理由は前の文に書かれていることをふまえてまとめる。
- (3) 傍線部の直前に「たとえば」とあることから、傍線部が前の内容の具体例であることがわかる。したがって、前の文の『母語』と『母国語』が一致していない人は、一致している人よりも精神的な苦痛を感じることが多い」に着目する。つまり、金時鐘さんは『母語』と『母国語』が一致していない人の例である。
- (4) まず、傍線部を検討すると、「合計七万時間以上を費やして母語を習得しています」と述べているので、筆者が、「母語」の習得には非常に長い時間がかかることを強調していることをおさえる。これをふまえたうえで、「母語」についての筆者の「意見」が書かれたところを探すと、終わりの一文に、「だから、自由自在に操れる！ これを大事にしない手はないではありませんか」とある。「だから」は前の文を受けていることから、「長い時間をかけて」「マスターした」からこそ、「自由自在に操れる」日本語を、「大事に」してほしいと願っていることが読み取れる。
- (5) 「母語」と「母国語」の定義を述べた部分に着目すると、「母語」については「幼児期に母親などの身近な人々から自然に習い覚え、自分の中に深く入り込んでいる言語」「生まれてから本人が意識しないうちに自然に身につけた言語で」「あなたの中に入り込み、瞬時に口について出てくる言葉」「母国語」については、「その人が国籍を持っている国で定められている共通語（公用語）」などの記述をふまえ、指定された形でまとめればよい。

課題 2

【出題の意図と対策】

これまでに読んだり見聞きたりした可能性の高い作品のあらすじから、問いに合わせた内容で自分の考えをまとめていく。作文の条件を読み取る力、読み手のことを考えて相手に伝わりやすい文章を書く力、指定条件を盛りこんで字教内にまとめる力、自分の経験や考え方などを総合的にまとめられているか、などをみる。

【解答】

- (例) 相手に自分が困るようなことをされたら、「それは困るからやめてほしい」とはっきりと主張します。キツネはいじわるで、わざと相手が困ることをしましたが、ふだんの生活では相手に悪気のない場合もあると思います。私が困っていることを相手に伝えることで、それ以降はいやがるようなことはしないと考えるからです。そして、このツルのように、仕返しをするのは、何の解決にもならないのでよくないと思います。

【解説】

あらすじをふまえて、「自分が困るようなことを相手にされたとき」に「どのような行動をとるか」について、理由とともにまとめる。

課題 3

【出題の意図と対策】

日本の選挙に関する複数の資料を題材として、資料から読み取った内容に関連づけて説明する力、社会的事象に対する思考力や判断力、表現力をみる。

【解答】

- (1) (例) (地図中のアから) 西に向かつて約100 m進むと裁判所があるで、その交差点を北に曲がつて約200 m進むと目的地の図書館に着く。
- (2) 資料1から読み取ったこと
(例) 有権者数の割合は増加している。
資料2から読み取ったこと
(例) 投票率は低下している。
資料1と資料2から推測できる日本の選挙の問題点
(例) 選挙権を持つ人の割合は増えているが、投票率は低下していることから、選挙に対する関心が低い。
- (3) (例) 若い世代の投票率が低いことから、若い世代の使用率が高いインターネットを使った選挙運動を行うことで、選挙に興味を持ってもらい、投票率を高める。

【解説】

- (1) 地図中のアの地点から、図書館（田）までのコースを方位と距離、地図記号を使って説明する。
- (2) 資料1と資料2から読み取れることをもとにして推測する。
- (3) 資料3や資料4より、若い世代の投票率が低いことと、インターネットを利用した選挙運動が可能になったことなどから、具体的方法を考える。